

こんにちは
日本共産党

市会議員
西野さち子です



あなたの声を届けます。

3か所で議会報告会



7月1日と8日に3か所で府・市議会報告会が開かれました。西野市議は「市民サービスを4年で250億円も削減するため『京プラン実施計画』は、市民の暮らしに大きな影響があります。ひとりの暮らしの高齢者の命綱でも有る緊急通報システムでさえ、利用料を値上げします。その一方で毎年20億円必要な焼却灰溶融炉はまだ中止にならず、更に2200億円もの負担が予測されるリニア中央新幹線等のムダ使いが検討されています。」と報告しました。参加者からは多くの質問や意見が出され、この会場でも時間が足りなくなりました。

「緊急通報システムは命綱！」
計画停電ってホントに必要か。

4年で250億円の削減ってひどい！



大型車や過積載の通行が増えて、アスファルトの痛みが目立ちます。周辺の住宅やマンションでは、「大型トラックやトレーラーが通ると地震のような揺れに驚く」と言っ

外環状線のデコボコを何とかしてほしい



年金世帯の負担増

京都市在住の75歳以上夫婦世帯
年金月額18万円、妻5万円で計算



「議会」に中学校区単位での議会報告会を開く予定です」と司会者が説明しました。高齢者の「雪だるま式の負担増」について、

年金は下がるのに、介護保険料は930円の値上げで月額5440円になって、基準額は導入当初から1・8倍にもなっています。その上、後期高齢者保険料が上がりますし、消費税の増税となれば、京都市のモデルケースでは3年間のトータルで21万3000円の負担増になります。介護保険料の負担軽減が公約だった市長の責任が問われます。



「バス停のベンチがほしい」

アルプラ前のバス停のベンチがなくなり、駐輪場の整備が終わればまだ設置される予定だったそうですが、歩道を通る自転車等とのトラブルが有り、バス停に近いアルプラの出入り口にベンチを置いて、とりあえず今は対応されているそうです。



アルプラ前のバス停



伏見網の目平和行進に参加 (7月7日)